

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年1月27日

協議会名: 山形県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等 ②事業概要	改善事業の概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
山交バス(株) ①山形市役所(六角・荒砥)長井線 (山形市～長井市)	・長井駅・新庁舎長井市役所経由の経路変更を検討。利便性向上のため運賃の見直しを検討。 ・R4.交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。	【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・長井駅・長井市役所新庁舎を経由する経路変更及び利用拡大のための告知・PRを実施。(R3.10) ・交通系ICカード導入(R4.5月)。山形県と協力し販促チラシ、利用ガイドを作成し、関係各所へPR活動を行い普及拡大の取組みを実施。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B ■運行回数(移動機会の確保) 計画:5.9回→実績:5.9回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:16.5人→実績:15.9人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。	・今後も観光地と連携した商品の制作及び販売を継続・強化し、通勤通学客以外(朝夕以外の利用者)の拡大を目指していく。 ・交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。
山交バス(株) ②山交ビル(荒谷・石倉)天童線 (山形市～天童市)	・路線見直しを検討するとともに乗降調査を継続的にを行い便数の適正化等による乗車効率の増加を目指す。 ・乗車率の低い天童市内の利用促進を図るためバス停周辺の地区において利用促進PRを実施する。 ・R4.交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。 ・バス車両1両購入(⑨天童(東根市役所)～北町線と共用)	【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・ダイヤ及び運行経路見直し及び安全対策を含めた協議会を運行営業所と実施。 ・沿線自治体の公民館・病院等を中心に路線別時刻表を重点的に配布しPR等を実施。 ・交通系ICカード導入(R4.5月)。山形県と協力し販促チラシ、利用ガイドを作成し、関係各所へPR活動を行い普及拡大の取組みを実施。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B ■運行回数(移動機会の確保) 計画:13.6回→実績:13.6回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:48.9人→実績:46.2人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。	・継続して乗降調査結果を分析してダイヤ調整を行い、沿線市町村(山形市・天童市)とともに路線維持に向けた取組みを推進していく。 ・交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。
山交バス(株) ③県立中央病院(表蔵王・四ツ谷)高松葉山線 (山形市～上山市)	・山形市と上山市を結ぶ類似系統が多数存在するため、統廃合などにより効率的な運行を図る。 ・利用者が見やすい時刻表を作成し、配布することにより利用促進を図る。 ・R4.交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。 ・バス車両1両購入(④山形(若葉町・南山形)高松葉山線と共用)	【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・運行の効率化を高めるため、ダイヤ改正で便数の整理を実施。(R4.1月) ・スポーツセンター・県立中央病院を中心に路線別時刻表を重点的に配布しPR等を実施した。 ・交通系ICカード導入(R4.5月)。山形県と協力し販促チラシ、利用ガイドを作成し、関係各所へPR活動を行い普及拡大の取組みを実施。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	A ■運行回数(移動機会の確保) 計画:5.6回→実績:5.6回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:20.1人→実績:22.9人 ■達成状況 計画通りの運行回数を維持し、輸送量実績は計画を上回っており、目標は達成されている。	・乗降調査結果を分析し、利便性の向上に努めながら、沿線市町村(山形市・上山市)とともに利用促進策等の取組みを継続していく。 ・交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。
山交バス(株) ④山形(若葉町・南山形)高松葉山線 (山形市～上山市)	・山形駅西口バス乗り場開設に伴う、経路変更の検討。 ・利用拡大のための住民説明会やICカード搭載時の乗り方教室を実施する。 ・利用者が見やすい時刻表を作成し、配布することにより利用促進を図る。 ・R4.交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。 ・バス車両1両購入(⑦山交ビル～寒河江駅前線と共用)	【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・経路変更により山形駅東口の混雑対策を実施。(R4.3月) ・沿線の病院などを中心に路線別時刻表を重点的に配布しPR等を実施した。 ・交通系ICカード導入(R4.5月)。山形県と協力し販促チラシ、利用ガイドを作成し、関係各所へPR活動を行い普及拡大の取組みを実施。また、ICサービスイン後を想定した乗り方教室を開催。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B ■運行回数(移動機会の確保) 計画:15.6回→実績:15.6回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:62.4人→実績:57.7人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。	・乗降調査結果を分析し、利便性の向上に努めながら、沿線市町村(山形市・上山市)とともに利用促進策等の取組みを継続していく。 ・沿線の観光施設と連携した取組みを今後も継続していく。 ・交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。
山交バス(株) ⑤寒河江駅前(松川・左沢)宮宿線 (寒河江市～朝日町)	・R5年10月に向けて経路変更・ダイヤ改正予定。 ・沿線沿い学校に通う学生・住民のための施策を続け、利用拡大を図る。 ・R4.交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。 ・バス車両1両購入(⑦山交ビル～寒河江駅前線と共用)	【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・沿線市町村と運行経路及び運行ダイヤについて地元住民の利用拡大を目的とした意見交換を実施。 ・沿線沿い学校へ時刻表等を配布。(R4.3月) ・交通系ICカード導入(R4.5月)。山形県と協力し販促チラシ、利用ガイドを作成し、関係各所へPR活動を行い普及拡大の取組みを実施。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B ■運行回数(移動機会の確保) 計画:5.3回→実績:5.3回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:25.4人→実績:16.4人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。	・沿線及び近隣市町村とともに、通学・通院等の利用促進を今後も継続して推進する。 ・交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。
山交バス(株) ⑥寒河江駅前～谷地線 (寒河江市～河北町)	・利便性アップに向けた運行経路の見直しや効率的な運行のための日祝の減便を検討。 ・利用者が見やすい時刻表を作成し、配布することにより利用促進を図る。 ・R4.交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。	【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・沿線市町村と協議のうえ、終点を延伸し利用拡大を図った。(R4.1月) ・沿線の病院・スーパー・高校を中心に路線別時刻表等を重点的に配布。 ・交通系ICカード導入(R4.5月)。山形県と協力し販促チラシ、利用ガイドを作成し、関係各所へPR活動を行い普及拡大の取組みを実施。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B ■運行回数(移動機会の確保) 計画:10.2回→実績:10.2回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:39.7人→実績:29.5人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。	・沿線及び近隣市町村とともに、通学・通院等の利用促進を今後も継続して推進する。 ・交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。

協議会名： 山形県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等 ②事業概要	改善事業の概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
山交バス(株)  ⑦山交ビル～寒河江駅前線 (山形市～寒河江市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>効率的運行のための減便をする。</li> <li>利便増進のための施策を検討。</li> <li>R4.交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。</li> </ul>	【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・ダイヤ改正で便数の整理を実施し、乗車効率の向上を図った。(R4.1月) ・運行営業所や沿線市町村と乗車率アップのために経路変更や運賃体系について意見交換を実施。 ・交通系ICカード導入(R4.5月)。山形県と協力し販促チラシ、利用ガイドを作成し、関係各所へPR活動を行い普及拡大の取組みを実施。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B ■運行回数(移動機会の確保) 計画:18.1回→実績:18.1回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:48.8人→実績:43.4人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>沿線及び近隣市町村とともに、通学・通院等の利用促進を今後も継続して推進する。</li> <li>交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。</li> </ul>
山交バス(株)  ⑧天童 寒河江線 (天童市～寒河江市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用拡大のための乗り方教室を実施する。</li> <li>利用者のニーズや意見を聞く機会を設ける。</li> <li>ダイヤや便数について検討する。</li> </ul>	【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・天童市内の保育園でバスの乗り方教室を計画した。(R4.9月) ・寒河江市内の高校生から取材という形の中で要望や意見の聞き取りも行った。(R4.1月) ・冬季の運行における課題共有を行った。(R4.8月)	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	A ■運行回数(移動機会の確保) 計画:5.0回→実績:5.0回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:16.0人→実績:29.0人 ■達成状況 計画通りの運行回数を維持し、輸送量実績は計画を上回っており、目標は達成されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>R4.10月にバスの乗り方教室を実施予定。</li> <li>高校生から聞き取った要望や意見について、取り入れられる内容がないか精査する。</li> </ul>
山交バス(株)  ⑨天童(東根市役所)北町線 (天童市～村山市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>沿線にある村山産業高校・村山特別支援学校のためのダイヤや便数について検討。</li> <li>効率的な運行のための日祝の減便を検討。</li> <li>R4.交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。</li> </ul>	【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・沿線高校からの要望を踏まえ、冬期通学のための系統新設。(R5.1月運行開始) ・運行営業所と協議会を実施し、利用者の少ない日祝の運行についての利用状況を確認、今後の運行方針について意見交換を実施。 ・交通系ICカード導入(R4.5月)。山形県と協力し販促チラシ、利用ガイドを作成し、関係各所へPR活動を行い普及拡大の取組みを実施。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B ■運行回数(移動機会の確保) 計画:6.9回→実績:6.9回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:12.4人→実績:10.3人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も沿線市町村(天童市・東根市・村山市)とともに利用促進策等の取組みを継続して推進する。</li> <li>交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。</li> </ul>
山交バス(株)  ⑩山交ビル(県立中央病院・高掬)天童温泉線 (山形市～天童市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>運転免許センター・県立病院の特定ニーズのある路線のため、維持に向け経路について見直す。</li> <li>利用者が見やすい時刻表を作成し、配布することにより利用促進を図る。</li> <li>R4.交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。</li> </ul>	【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・運行営業所と協議会を開き、利便増進のための経路見直しについて意見交換を実施。 ・沿線の病院等を中心に路線別時刻表を重点的に配布しPR等を実施した。 ・交通系ICカード導入(R4.5月)。山形県と協力し販促チラシ、利用ガイドを作成し、関係各所へPR活動を行い普及拡大の取組みを実施。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	A ■運行回数(移動機会の確保) 計画:3.0回→実績:3.0回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:6.9人→実績:7.8人 ■達成状況 計画通りの運行回数を維持し、輸送量実績は計画を上回っており、目標は達成されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者が特定の客層(県立中央病院及び運転免許センター)であることから、便数・輸送量が少ないため、路線の維持に向けた取組みを今後も沿線市町村・県と検討していく。</li> <li>交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。</li> </ul>
山交バス(株)  ⑪山交ビル(漆山)天童温泉線 (山形市～天童市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダイヤ、路線の見直しを行い乗車効率及び利用者の利便性を上げていく。</li> <li>利用者が見やすい時刻表を作成し、配布することにより利用促進を図る。</li> <li>R4.交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。</li> </ul>	【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・利便増進に向け、経路変更のシミュレーションを実施。 ・沿線の病院・スーパー・高校を中心に路線別時刻表を重点的に配布しPR等を実施した。 ・交通系ICカード導入(R4.5月)。山形県と協力し販促チラシ、利用ガイドを作成し、関係各所へPR活動を行い普及拡大の取組みを実施。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B ■運行回数(移動機会の確保) 計画:22.9回→実績:22.9回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:59.5人→実績:57.2人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も沿線市町村(山形市・天童市)とともに利用促進策等の取組みを継続して推進する。</li> <li>交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。</li> </ul>
山交バス(株) 宮城交通(株)  ⑫上山 仙台線 (上市市～仙台市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>R3.10月に経路変更予定。</li> <li>東北芸術工科大学と連携してさらなる利用拡大・利便増進を図る。</li> <li>山交バスにてR4.交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。</li> </ul>	【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・山形大学医学部重粒子センターの要望を踏まえ大学病院前バス停を経由する経路変更を実施。(R3.10月) ・メインユーザーの東北芸術工科大学の要望を踏まえダイヤ改正を実施(R4.3月)。 ・交通系ICカード導入(R4.5月)。山形県と協力し販促チラシ、利用ガイドを作成し、関係各所へPR活動を行い普及拡大の取組みを実施。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	A ■運行回数(移動機会の確保) 計画:7.4回→実績:7.4回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:68.8人→実績:83.6人 ■達成状況 計画通りの運行回数を維持し、輸送量実績は計画を上回っており、目標は達成されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画乗車券などの新商品の開発に向けて取り組む。</li> <li>交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。</li> </ul>

協議会名： 山形県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等 ②事業概要	改善事業の概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
山交バス(株) ジェイアールバス東北(株)  ⑬米沢 仙台線 (米沢市～仙台市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗降調査の結果を分析したうえでダイヤ改正を行い利用拡大につなげる。</li> <li>利用促進のための施策を検討。</li> <li>山交バスにてR4.交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。</li> </ul>	<p>【前回の事業評価結果】自己評価のとおり</p> <p>【事業評価結果の反映状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運行会社間で意見交換を実施し、乗降調査で利用の少ない時間帯の便を変更し、乗車率の改善を図った。(R4.4月)</li> <li>仙台圏の利用者取込みを目的とした商品の検討。</li> <li>交通系ICカード導入(R4.5月)。山形県と協力し販促チラシ、利用ガイドを作成し、関係各所へPR活動を行い普及拡大の取組みを実施。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B <ul style="list-style-type: none"> <li>■運行回数(移動機会の確保) 計画:6.0回→実績:5.9回</li> <li>■輸送量(利用者数の維持) 計画:54.6人→実績:53.1人</li> <li>■達成状況 運行回数は、吹雪によるやむを得ない運休を除き計画通りであった。新型コロナウイルスの影響により輸送量は目標未達成のため、取組を継続する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画乗車券などの新商品の開発に向けて取り組む。</li> <li>交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。</li> </ul>
山交バス(株)  ⑭新庄(東根・作並)仙台線 (新庄市～仙台市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダイヤ、路線の見直しを行い乗車効率及び利用者の利便性を上げていく。</li> <li>新たな取り組みの開発</li> <li>R4.交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。</li> </ul>	<p>【前回の事業評価結果】自己評価のとおり</p> <p>【事業評価結果の反映状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東北中央道の開通による将来的な路線再編及び乗降調査に基づいた新ダイヤを検討。</li> <li>王将果樹園に新規事業としてさくらんぼの貨客混載ができないか提案を実施。</li> <li>交通系ICカード導入(R4.5月)。山形県と協力し販促チラシ、利用ガイドを作成し、関係各所へPR活動を行い普及拡大の取組みを実施。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	A <ul style="list-style-type: none"> <li>■運行回数(移動機会の確保) 計画:8.6回→実績:8.6回</li> <li>■輸送量(利用者数の維持) 計画:49.8人→実績:52.4人</li> <li>■達成状況 計画通りの運行回数を維持し、輸送量実績は計画を上回っており、目標は達成されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画乗車券などの新商品の開発に向けて取り組む。</li> <li>交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。</li> </ul>
山交バス(株)  ⑮県立病院～金山線 (新庄市～金山町)	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線再編の検討</li> <li>沿線沿いの学校に通う学生の利用促進。</li> <li>R4.交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。</li> </ul>	<p>【前回の事業評価結果】自己評価のとおり</p> <p>【事業評価結果の反映状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>R5.10月の県立病院移転に伴う路線再編に向け、山形県と継続協議中。</li> <li>通学の利便増進に向けたダイヤ作成のため、沿線市町村や運行営業所と利用ニーズ等の情報交換を実施。</li> <li>交通系ICカード導入(R4.5月)。山形県と協力し販促チラシ、利用ガイドを作成し、関係各所へPR活動を行い普及拡大の取組みを実施。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	A <ul style="list-style-type: none"> <li>■運行回数(移動機会の確保) 計画:9.1回→実績:9.1回</li> <li>■輸送量(利用者数の維持) 計画:28.2人→実績:40.9人</li> <li>■達成状況 計画通りの運行回数を維持し、輸送量実績は計画を上回っており、目標は達成されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も沿線市町村(金山町・新庄市)と協力して利用促進のためのPR活動を継続する。</li> <li>交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。</li> </ul>
株新庄輸送サービス  ⑯県立病院～肘折線 (新庄市～大蔵村)	<ul style="list-style-type: none"> <li>貨客混載便の継続。</li> <li>観光利用の促進強化。</li> </ul>	<p>【前回の事業評価結果】自己評価のとおり</p> <p>【事業評価結果の反映状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>貨客混載の実証実験を継続して実施。</li> <li>肘折温泉～新庄間の往復乗車券の販売を継続。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	A <ul style="list-style-type: none"> <li>■運行回数(移動機会の確保) 計画:5.6回→実績:5.6回</li> <li>■輸送量(利用者数の維持) 計画:13.4人→実績:14.5人</li> <li>■達成状況 計画通りの運行回数を維持し、輸送量実績は計画を上回っており、目標は達成されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>貨客混載便は、実証実験から需要が有り、高齢化や輸送業の人手不足の状況もあることから継続して取り組む。</li> <li>地元利用者(通勤・通学等)への増進アピールとコロナ禍戻りつつある観光客の乗合需要の掘り起こしを行う。</li> </ul>
(有)はながさバス  ⑰銀山線 (尾花沢市～大石田町)	<p>観光利用促進として、主に首都圏からの観光客の増加を目的としたPR活動を実施する。</p>	<p>【前回の事業評価結果】(R4からの新規補助系統)</p> <p>【事業評価結果の反映状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>車内に銀山温泉のポストカードを配置し、バスを利用した観光客を対象に配布を検討。レイアウトや予算を検討中。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B <ul style="list-style-type: none"> <li>■運行回数(移動機会の確保) 計画:6.6回→実績:6.6回</li> <li>■輸送量(利用者数の維持) 計画:33.7人→実績:20.4人</li> <li>■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域需要に見合った路線形態を沿線市町(鶴岡市・酒田市・三川町)と協議し、利便性の高い路線を目指す。</li> <li>収益の向上のため路線再編を実施。</li> <li>交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。</li> </ul>
山交バス(株) 庄内交通(株)  ⑱山形(月山口)鶴岡線 (山形市～鶴岡市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光利用のお客様の利便性を高める。</li> <li>新たな取り組みの開発</li> <li>R4.交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。</li> </ul>	<p>【前回の事業評価結果】(R4からの新規補助系統)</p> <p>【事業評価結果の反映状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>湯殿山を観光目的とする乗客向けに季節限定の運行経路を設定。</li> <li>新規の利用者取り込みを目的とした新たなバック商品ができないか検討。</li> <li>交通系ICカード導入(R4.5月)。山形県と協力し販促チラシ、利用ガイドを作成し、関係各所へPR活動を行い普及拡大の取組みを実施。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B <ul style="list-style-type: none"> <li>■運行回数(移動機会の確保) 計画:3.0回→実績:2.9回</li> <li>■輸送量(利用者数の維持) 計画:15.3人→実績:15.0人</li> <li>■達成状況 運行回数は、吹雪によるやむを得ない運休を除き計画通りであった。新型コロナウイルスの影響により輸送量は目標未達成のため、取組を継続する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画乗車券などの新商品の開発に向けて取り組む。</li> <li>交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。</li> </ul>

協議会名： 山形県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等 ②事業概要	改善事業の概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
庄内交通(株)  ⑱鶴岡 三川線 (鶴岡市～三川町)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用実績および地域需要に見合った路線形態の検討協議</li> <li>・『つるおか1日乗り放題券』、高齢者定期券『ゴールドパス』の拡販</li> <li>・利便性向上のため『ICカード』の導入(令和4年5月)</li> </ul>	<p>【前回の事業評価結果】 (R4からの新規補助系統) 【事業評価結果の反映状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年10月1日付け路線再編。利用実態を調査し、再変更や今後の路線の在り方を継続協議。</li> <li>・主要観光拠点や地域住民の拠点へチラシ等の配布。広報への掲載。</li> <li>・地域連携ICカードを導入。わかりやすい運賃表示、支払いの簡素化により、利便性の向上。</li> </ul>	<p>A</p> <p>計画どおり事業は適切に実施されている。</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■運行回数(移動機会の確保) 計画:8.0回→実績:8.0回</li> <li>■輸送量(利用者数の維持) 計画:20.8人→実績:18.4人</li> <li>■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、地域需要に見合った路線形態を沿線自治体と協議し、利便性の高い路線を目指す。</li> <li>・交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。</li> </ul>
庄内交通(株)  ⑳三川 酒田線 (三川町～酒田市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用実績および地域需要に見合った路線形態の検討協議</li> <li>・路線別時刻表の作成及び設置配布(令和4年3月)</li> <li>・利便性向上のため『ICカード』の導入(令和4年5月)</li> </ul>	<p>【前回の事業評価結果】 (R4からの新規補助系統) 【事業評価結果の反映状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年10月1日付け路線再編。利用実態を調査し、再変更や今後の路線の在り方を継続協議。</li> <li>・エスモールバスターミナルや酒田庄交バスターミナル、鶴岡駅前へ設置し、路線ごとの時刻や経路を案内。</li> <li>・地域連携ICカードを導入。わかりやすい運賃表示、支払いの簡素化により、利便性の向上。</li> </ul>	<p>A</p> <p>計画どおり事業は適切に実施されている。</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■運行回数(移動機会の確保) 計画:7.9回→実績:7.9回</li> <li>■輸送量(利用者数の維持) 計画:25.7人→実績:16.5人</li> <li>■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、地域需要に見合った路線形態を沿線自治体と協議し、利便性の高い路線を目指す。</li> <li>・交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。</li> </ul>
庄内交通(株)  ㉑鶴岡 いでは文化記念館 (鶴岡市～旧羽黒町)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用実績および地域需要に見合った路線形態の検討協議</li> <li>・高齢者利用促進のため、イベント開催や地域訪問による告知活動</li> <li>・利便性向上のため『ICカード』の導入(令和4年5月)</li> </ul>	<p>【前回の事業評価結果】 (R4からの新規補助系統) 【事業評価結果の反映状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年10月1日付け路線再編。利用実態を調査し、再変更や今後の路線の在り方を継続協議。</li> <li>・販促イベントや地域ごとに訪問などにより、告知活動及び乗り方教室を実施。</li> <li>・地域連携ICカードを導入。わかりやすい運賃表示、支払いの簡素化により、利便性の向上。</li> </ul>	<p>A</p> <p>計画どおり事業は適切に実施されている。</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■運行回数(移動機会の確保) 計画:9.5回→実績:9.5回</li> <li>■輸送量(利用者数の維持) 計画:25.7人→実績:24.7人</li> <li>■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、地域需要に見合った路線形態を沿線自治体と協議し、利便性の高い路線を目指す。</li> <li>・交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。</li> </ul>

※上記他、詳細は別紙「地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(様式1-5-2)」を参照